

森を知り、森を守り、森を活かす

森林総合研究所は、森林・林業・木材産業に関わる研究を通じて、豊かで多様な森林の恵みを生かした循環型社会の形成に寄与することを目指しています。

茨城県に本部があり、各地域の実情に即した研究開発を目的に、北海道から九州まで全国各地に研究拠点があります。

その中で九州支所は、温帯から亜熱帯地域に分布する森林・林業に関わる、幅広い分野の研究に、日々取り組んでいます。

森林生態系研究グループ



生態系機能に配慮した森林管理技術の開発と、森林土壌の物質貯留機能や水質浄化機能の解明について研究を行っています。

山地防災研究グループ



森林の環境維持機能及び防災機能を活かしつつ、山地で発生する災害を軽減について研究を行っています。

森林微生物管理研究グループ



森林や緑化樹木の衰退につながる樹木病害、食用きのこの新品種開発、菌根性きのこ(トリュフ)の生産について研究を行っています。

森林資源管理研究グループ



森林経営や森林管理について研究を行っています。

森林動物研究グループ



森林に悪影響を及ぼす鳥獣や昆虫の生態の解明と防除、絶滅のおそれのある種や生物多様性の保全について研究を行っています。

森林総合研究所九州支所



公式HP